

センター6 日露戦争

【2006ー本】

a: 明治政府は、成立直後から東アジアに向けて活発な外交を展開した。清国とは 1871 年に国交を結んだが、朝鮮との通交は容易に実現できなかった。そのため、1875 年、日本は江華島事件を起こして朝鮮を開国させ、【ア】を締結した。

1894 年、【イ】が起こると、朝鮮をめぐる対立していた日本と清国は、朝鮮に出兵し、b: 日清戦争がはじまった。

問1 空欄に入る語句の組合せとして正しいものを、次から一つ選べ。

- ① ア 第1次日韓協約 イ 甲申事変
- ② ア 第1次日韓協約 イ 甲午農民戦争
- ③ ア 日朝修好条規 イ 甲申事変
- ④ ア 日朝修好条規 イ 甲午農民戦争

【ア】は江華島事件とある。第一次日韓協約は外交・財政顧問を置くことを要求したもの。【イ】は日清戦争直前に起こったもの。甲申事変は 1884 年。正解 4

問2 下線部aに関連して、日清戦争以前の出来事として正しいものを、次から一つ選べ。

- (1) 旅順の関東都督府が改組され、関東庁が設置された。
- (2) 政府は、「臥薪嘗胆」を合言葉に軍備増強を進めた。
- (3) 政府は、琉球の島民が殺害された事件を理由に、台湾出兵を行った。
- (4) 朝鮮では、ロシアに接近する閔妃が殺害される事件が起こった。

→正解 3 1は 1919 年のこと。2と4は日清戦争の後。

問3 下線部bに関連して述べた文として誤っているものを、次から一つ選べ。

- (1) この戦争中、与謝野晶子が詩「君死にたまふこと勿れ」を発表した。
- (2) この戦争の講和条約で、日本は2億両の賠償金を得ることになった。
- (3) この戦争の結果、清国は朝鮮への宗主権を放棄し、その独立を認めた。
- (4) この戦争が終わると、ヨーロッパ列強の中国進出が強まった。

正解は 1 日露戦争の時。

●日露対立と中国分割

1895【三國干渉】→【露】・仏・独が日本に遼東半島返還を要求→受諾
 ⇒国内では【臥薪嘗胆】を合言葉に反露感情を高め、軍備拡張がすすむ
朝鮮情勢↓
 1895×【閔妃殺害】事件→朝鮮公使:三浦梧楼による謀略
 1897【大韓帝国】成立→朝鮮名から改める、親露政権へ
 列強による中国分割進む→ロシア・ドイツ・イギリス・フランスなど
 1900×【北清事変】→「扶清滅洋」を唱える【義和団】の反乱
 ⇒清国政府が列国に宣戦日本を中心とする列国が鎮圧
 ⇒日本は「極東の憲兵」と呼ばれる
 1901【北京議定書】→北京郊外に列国の守備隊駐屯を認める

●日露戦争→ロシアが事実上満州を占領、日本にとって脅威となる

国内:伊藤博文らの**満韓交換**による権益の確保である【日露協商】論を主張
 主戦論(多数派) = **対露同志会**・東大七博士
 非戦論(少数派) = 【平民社】(幸徳秋水・堺利彦)・【内村鑑三】
 与謝野晶子「君死にたまふことなかれ」
 1902【日英同盟】の締結→イギリスの力でロシアに対抗、桂太郎首相の強行方針
 1904×【日露戦争】勃発…宣戦布告→旅順陥落→奉天会戦→日本海海戦(司令長官 = 東郷平八郎、バルチック艦隊撃破)…戦局は日本に有利に展開するも継続困難(日露共)→米大統領【セオドア・ローズヴェルト】の斡旋で講和
 1905【ポーツマス条約】
 ⇒外相【小村寿太郎】(第1次桂内閣)とロシア全権【ウイッテ】
 ⇒ロシアは韓国の指導権を認める
 【旅順】・【大連】と**長春以南の東清鉄道敷設権譲渡**
北緯50度以南の樺太の割譲、カムチャッカの漁業権⇒賠償金はなし
 1905×【日比谷焼打ち事件】…賠償金なしの講和条件への不満から暴動へ

●列強の中国分割

ロシア	東清鉄道敷設権、 旅順・大連租借
ドイツ	山東半島の膠州湾租借
イギリス	威海衛・九竜半島租借
フランス	広州湾租借
アメリカ	国務長官ジョン=ヘイ 「門戸開放」宣言

日露戦争後の大陸情勢と大陸進出

●満州進出

1905 関東州設置⇒旅順・大連とその付属地域
1906【 関東都督府 】設置⇒関東州の統治
1906【 南満州鉄道株式会社(満鉄) 】設立⇒半官半民の国策会社、初代総裁 後藤新平

【河合塾予想 2013-4】年代順に古いものから年代順に並びかえよ。

- I 韓国政府は日本政府の推薦する日本人一名を財務顧問として韓国政府に備聘し、財務に関する事項は総て其意見を詢ひ施行すべし。
- II 韓国皇帝閣下は韓国全部に関する一切の統治権を完全且永久に日本国皇帝陛下に譲与す。
- III 日本国政府は、某代表者として韓国皇帝陛下の間

答⇒

●韓国併合 ㊦日露戦争勃発から韓国併合までの流れを確実におさえる。2002,2003 出題

1904	日韓議定書…日露戦争での便宜をはかる	
1904	【 第 1 次日韓協約 】…日本政府の推薦者韓国政府の 財政・外交顧問 に任用	→ 韓国保護国化へ
1905	【 桂・タフト協定 】(アメリカ)⇒韓国保護国化を認めさせる 【 第 2 次日英同盟 】(イギリス)⇒日露戦争での日本優位の戦況が列国との調整で生きた。 ロシアは日本の韓国への指導権を承認(ポーツマス条約) 【 第 2 次日韓協約 】…日本が韓国の 外交権を奪う 漢城に【 統監府 】設置(初代統監: 伊藤博文)	→ 韓国は日本の保護国
1907	×【 ハーグ密使事件 】 ⇒韓国皇帝が万国平和会議に密使を派遣して抗議 列強は無視 【 第 3 次日韓協約 】 ⇒韓国内政権を奪い、軍隊解散	→ 義兵運動激化
1909	×【 伊藤博文 】暗殺⇒ ハルビン で 安重根 により	
1910	【 韓国併合条約 】 ⇒日本側全権【 寺内正毅 】【 李完用 】(韓国) ⇒【 朝鮮総督府 】をおく 初代総督:【 寺内正毅 】	→ 韓国を植民地化 ㊦統監府と朝鮮総督府、どちらがいつ設けられたのか、この区別は頻出！
韓国併合後の朝鮮支配		
1908	【 東洋拓殖会社 】…国策会社、朝鮮の土地支配が目的	
1910	土地調査事業 …朝鮮農民から土地を奪う	

【近代】2003-追

次の年表の I と II の時期の対外関係や国内政治に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

1889 年	大日本帝国憲法発布
I	
1904 年	日露戦争始まる
II	
1914 年	第一次世界大戦始まる
1937 年	日中戦争始まる

- ① I の時期には、来日中のロシア皇太子が、滋賀県大津で警備中の巡査に斬りつけられる事件が起こった。
- ② I の時期には、民党が初期議会で政府と対立した。
- ③ II の時期には、日本公使の指示によって朝鮮国の王妃を殺害する事件が起こった。
- ④ II の時期には、日本政府は、第 3 次日韓協約を締結し、韓国軍隊を解散させた。

答⇒正解 3

●日露戦争後の国際情勢

アメリカ	満鉄をめぐる関係悪化⇒アメリカは中国の門戸開放を主張 1905 桂・ハリマン協定 …満鉄の共同経営⇒日本は拒否 1906【 日本人移民排斥 】運動 1909 満鉄の中立化案
ロシア	1907～16 満蒙権益擁護のため、1～4 次にわたる【 日露協約 】締結 第 2 次⇒アメリカの満鉄中立化の阻止 第 3 次⇒辛亥革命に対抗 第 4 次⇒第 1 次世界大戦勃発により軍事同盟化
イギリス	日本との関係冷却、第 3 次日英同盟でアメリカを適用除外
中国	1911【 辛亥革命 】⇒孫文が中心、清朝崩壊⇒中華民国成立